

# 住民アンケート調査結果（概要）

○調査概要

**目的**公共交通の利用状況や再編、利用意向など運行に関する住民の意見を集約する。**調査方法**5市町合計 5,000 世帯に郵送配布（1 世帯 3 枚同封）QR コードによる WEB 回答可能。

**期間**2021 年 1 月 15 日～31 日 **回収数**有効回答票数 3,959 票（2,074 世帯より回収（回収率 41.6%）+WEB 回答 152 票）

## 1. 普段の外出

ア. 頻度・交通手段

	頻度	交通手段
通勤・通学	<p>・通勤・通学をしている人は全体の約 5 割。そのうちのほとんどが「週3～4日」以上。</p> <p>図 1-1 頻度（通勤・通学） N=3959</p>	<p>・自分で運転して移動している人は 85% ・送迎は 4% ・鉄道・バスは合わせて 5%</p> <p>図 1-2 交通手段（通勤・通学） N=2063（複数選択）</p>
通院	<p>・「月2～3回」以上通院している人は全体の約 2 割</p> <p>図 1-3 頻度（通院） N=3959</p>	<p>・自分で運転して移動している人は 72% ・送迎は 16% ・鉄道・バスは合わせて 6%</p> <p>図 1-4 交通手段（通院） N=2593（複数選択）</p>
日常の買い物	<p>・「週1～2日」以上日常の買い物で外出する人は全体の約 7 割。そのうち約半数が「週3～4日」以上</p> <p>図 1-5 頻度（日常の買い物） N=3959</p>	<p>・自分で運転して移動している人は 79% ・送迎は 12% ・鉄道・バスは合わせて 2%</p> <p>図 1-6 交通手段（日常の買い物） N=3422（複数選択）</p>
その他お出かけ	<p>・「月2～3日」以上外出する人は全体の約 4 割</p> <p>図 1-7 頻度（その他お出かけ） N=3959</p>	<p>・自分で運転して移動している人は 75% ・送迎は 16% ・鉄道・バスは合わせて 5%</p> <p>図 1-8 交通手段（その他お出かけ） N=2488（複数回答）</p>

	その他お出かけのうち【家族等の送迎】の頻度	その他お出かけのうち【買い物（日常的でない）・娯楽・趣味】の交通手段
その他お出かけ【目的別】	<p>・「週1～2日」以上、家族等の送迎で外出する人が約 6 割</p> <p>図 1-9 頻度（その他お出かけ【家族等の送迎】） N=227</p>	<p>・自分で運転して移動している人は 80% ・送迎は 18% ・鉄道・バスは合わせて 4%</p> <p>図 1-10 交通手段（その他お出かけ【買い物（日常的でない）・娯楽・趣味】） N=416（複数選択）</p>

### イ. 主な移動先

通勤・通学、通院、日常の買い物は、豊岡市では市内の移動が多い。一方で、香美町、新温泉町では町外への移動が多い。他市町への移動先としては、豊岡市が多く、養父市と朝来市では相互間、新温泉町では鳥取方面への移動が多い（図 1-11～13）。その他お出かけは、遠方への移動が多い。（図 1-14）

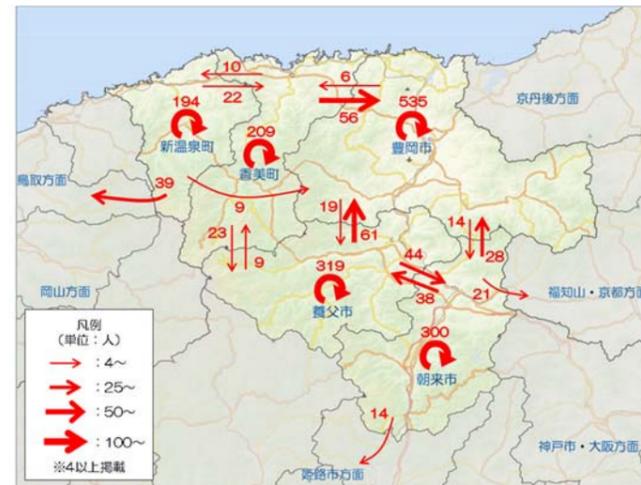


図 1-11 主な移動先（通勤・通学）

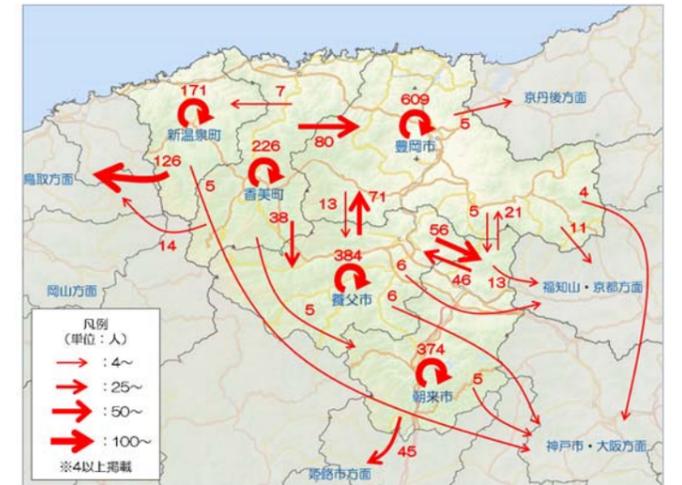


図 1-12 主な移動先（通院）

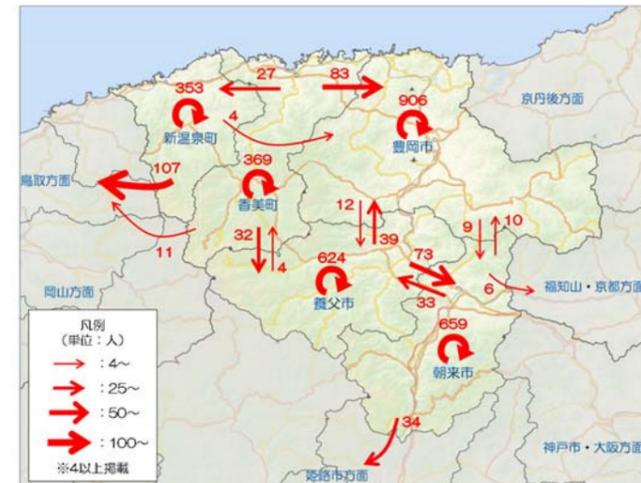


図 1-13 主な移動先（日常の買い物）

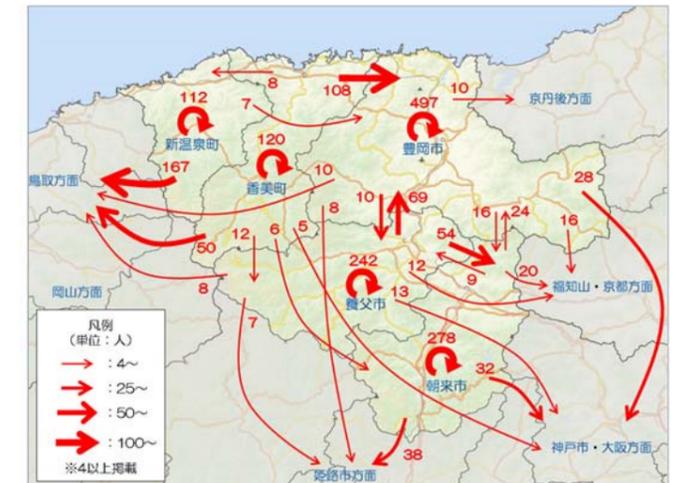


図 1-14 主な移動先（その他お出かけ）

ウ.高齢者の移動

高齢者は、60歳未満に比べ自分で運転して移動する割合が低いものの、約7割は自家用車を自分で運転して移動している。また、公共交通の利用や送迎の割合がやや高い。(図1-15、16)

※高齢者：60歳以上としている

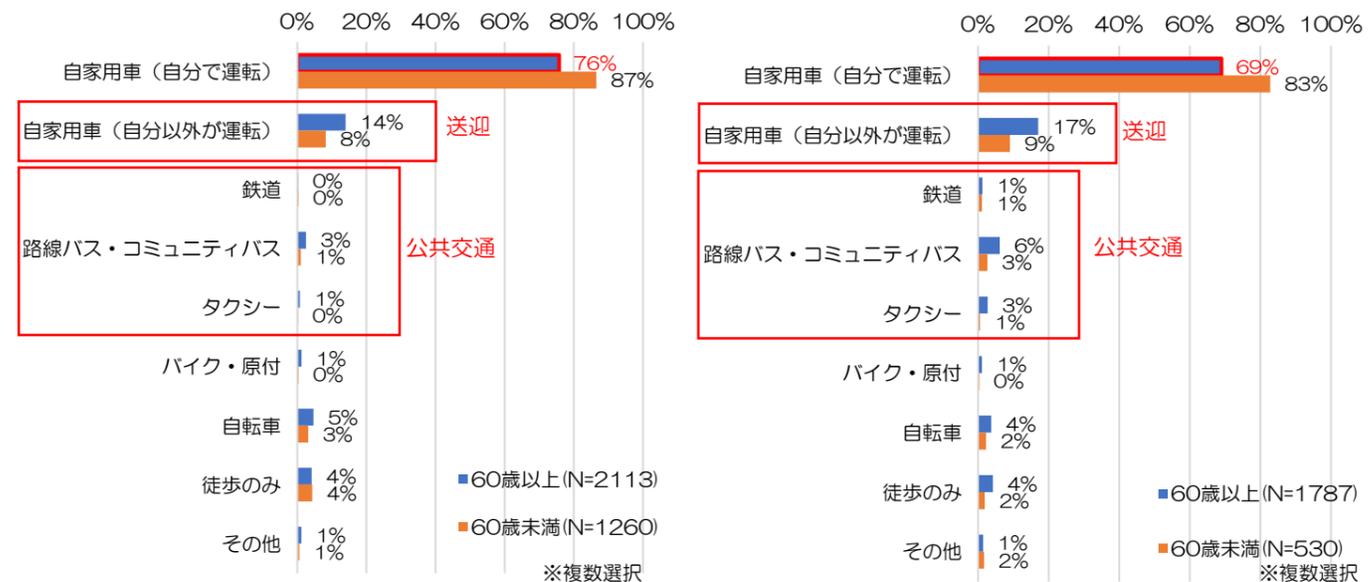


図1-15 日常の買い物の交通手段 (60歳以上・未満別)

図1-16 通院の交通手段 (60歳以上・未満別)

エ.運転できない人の移動

運転できない人は、運転できる人比べて日常の買い物のために、週1回以上外出する頻度が低い。(図1-17) 移動手段は、家族等の送迎が可能な人の約7割は送迎で外出しており、公共交通を利用する割合は低い。(図1-18)

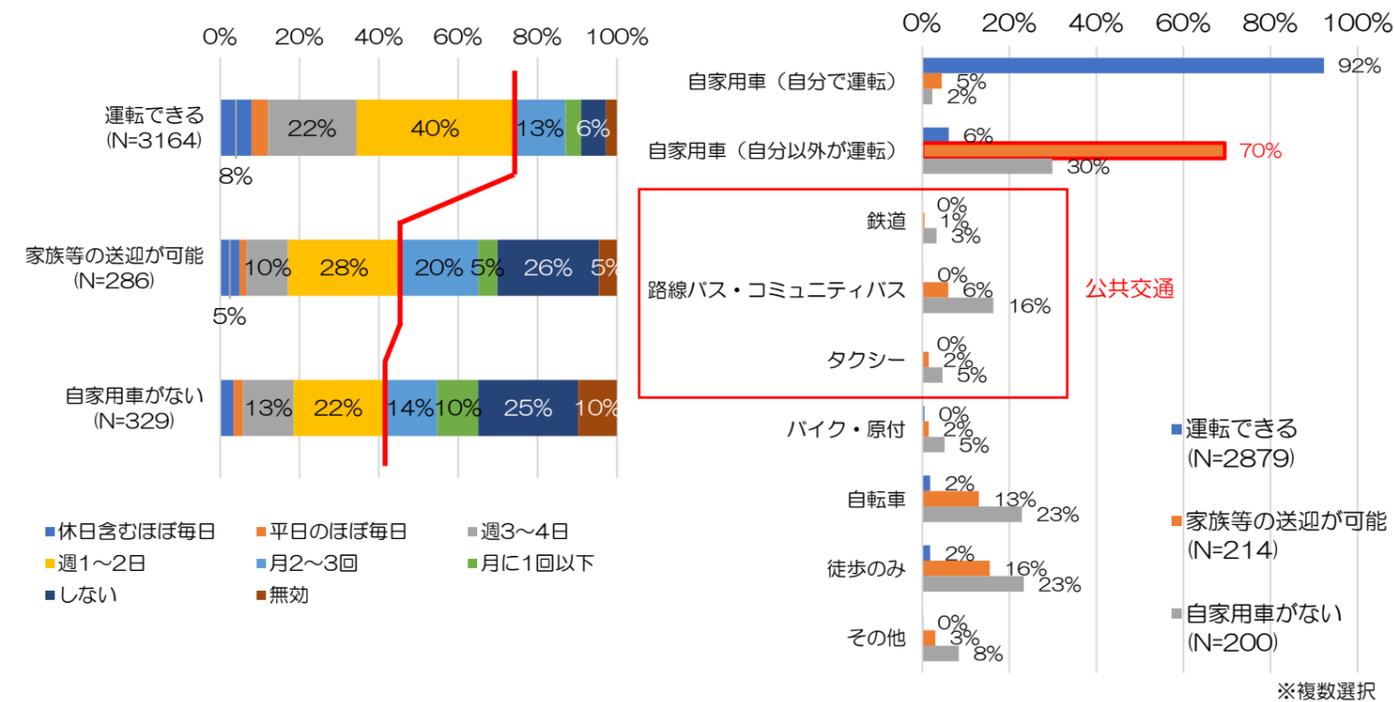


図1-17 日常の買い物の頻度 (運転可否別)

図1-18 日常の買い物の交通手段 (運転可否別)

※アンケート票の記載

運転できる：自分で自由に使える車を持っている (家族で併用の車を持っている)  
 家族等の送迎が可能：自分で運転できないが世帯で車を持っている (送迎が可能)

2.豊岡病院への移動

豊岡病院への利用頻度は、豊岡市、香美町が高く、新温泉町は他市町に比べ低い。(図2-1)

利用割合が高い地域は豊岡病院近隣の地域である。(図2-3)

交通手段は送迎を含め自家用車利用が多いが、豊岡市では約2割が自家用車以外で移動している。(図2-2)

自家用車を選択した理由は、公共交通では「時間がかかる」、「乗継が不便」、「運行本数が少ない」といった理由が多い。(図2-4)

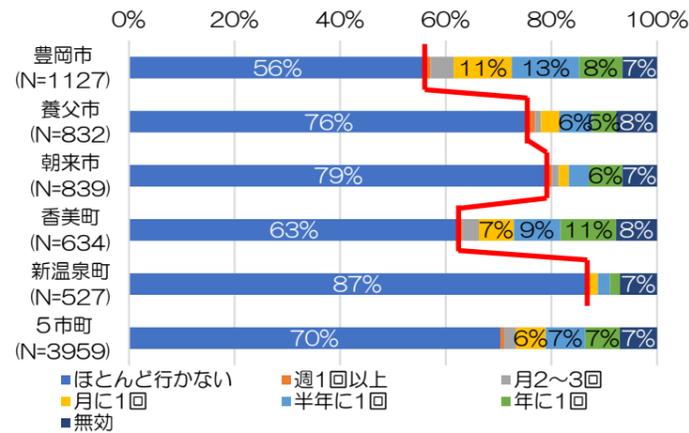


図2-1 豊岡病院の利用頻度

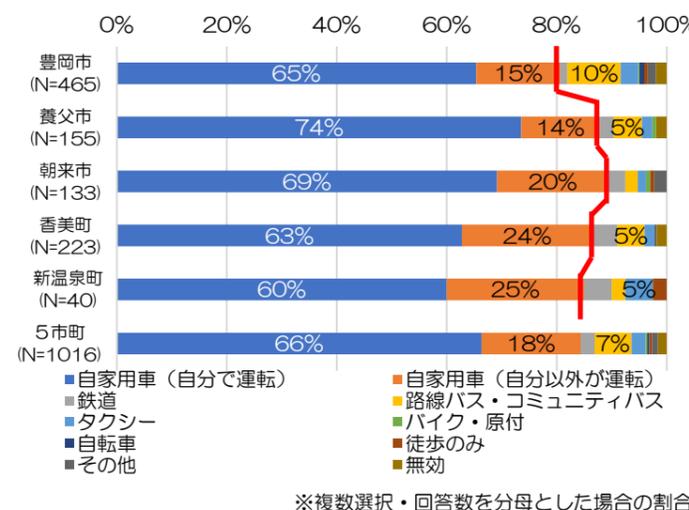


図2-2 豊岡病院への交通手段

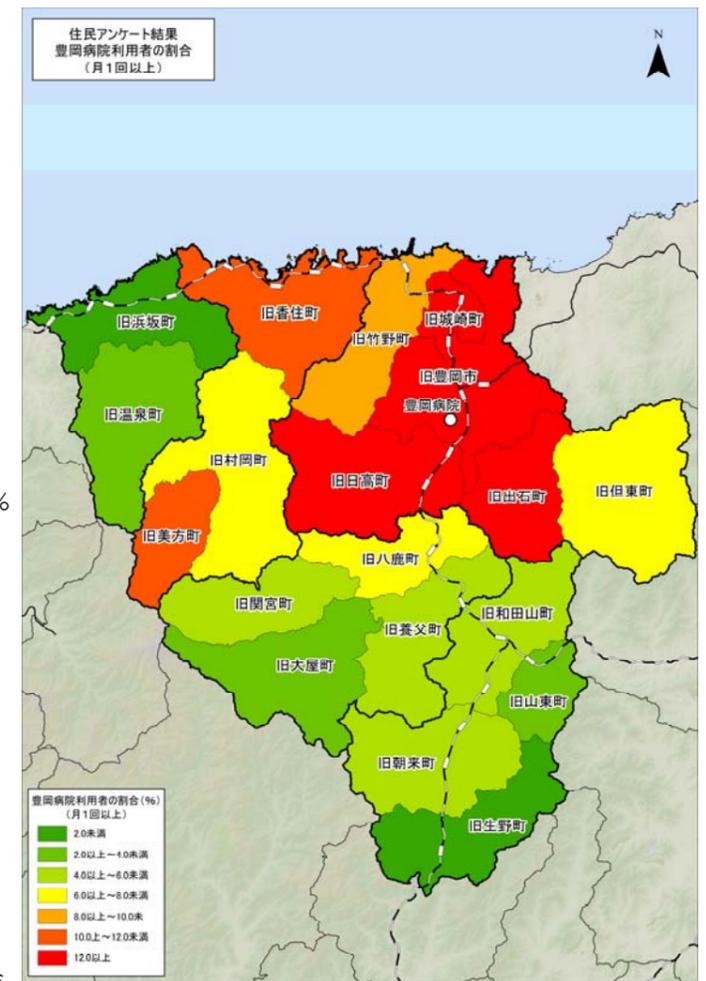


図2-3 月1回以上豊岡病院を利用している人の割合 (地域別)

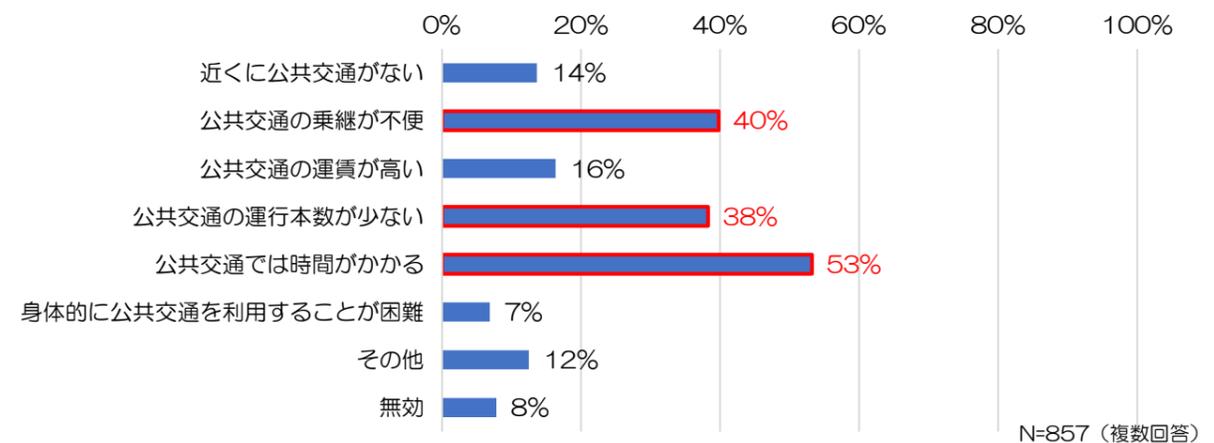


図2-4 自家用車を選択した理由

N=857 (複数回答)

### 3.外出の不安や不満

「将来運転ができなくなったとき不安だ」と感じている人が57%、次いで「公共交通が不便だ」と感じている人が39%。外出の際に送迎してもらっている人のうち、申し訳ないと感じている人が23%。また、バス利用者のうち、「公共交通が不便だ」と感じている人が43%。

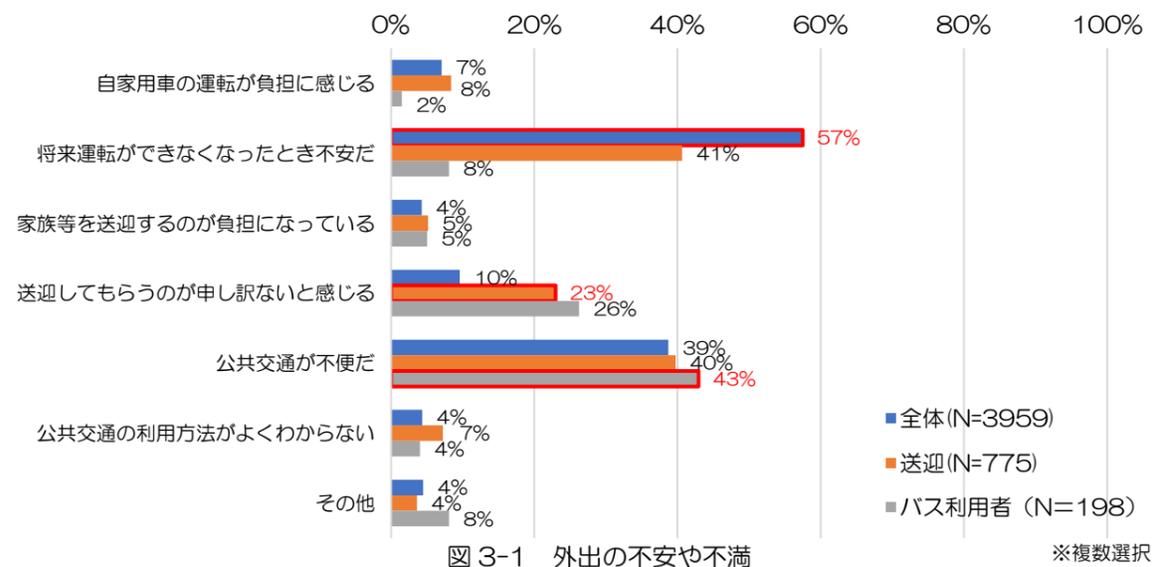


図 3-1 外出の不安や不満

※送迎：普段の外出項目において、いずれかの目的で送迎を交通手段として選択している人  
 バス利用者：普段の外出項目において、いずれかの目的で路線バス・コミュニティバスを交通手段として選択している人

### 4.公共交通に関する意見・移動形式別利用意向

#### ア. 路線バス・コミュニティバスの改善点

改善点として、「運行本数を増やす」が最も多く、次いで、「運賃を安くする」、「目的地まで乗り換えがない」が多い。「スマホなどでバスの運行情報を入手する」「電子決済などで料金が支払える」など、ICT 技術の活用は 60 歳未満の選択割合が高く、「車両の乗降が楽にできる」「目的地まで乗り換えがない」など、安全・安心に利用できる環境は高齢者の方が選択割合が高い。

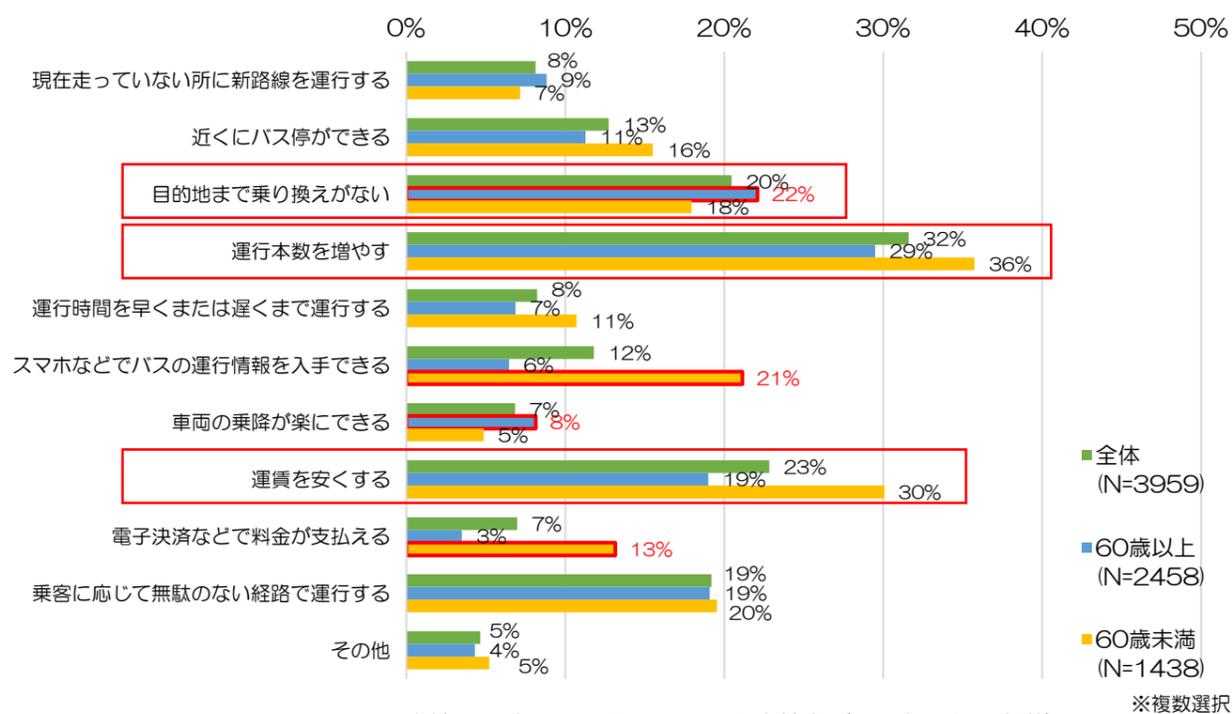


図 4-1 路線バスやコミュニティバスの改善点 (60 歳以上・未満)

#### イ. 移動形式別利用意向

##### (デマンド方式)

利用意向は 32%。(図 4-2) 利用しない理由としては、「事前予約が面倒」が 43%。(図 4-3)

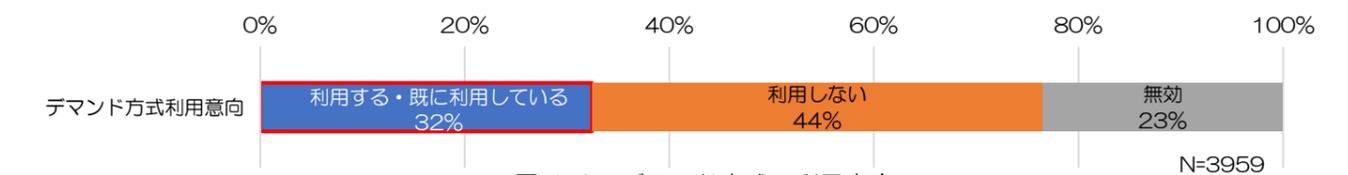


図 4-2 デマンド方式の利用意向

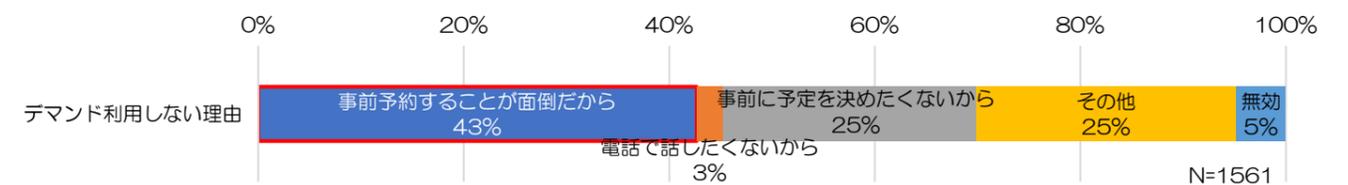


図 4-3 デマンド方式を利用しない理由

##### (タクシー)

「バス運賃と同等くらいであれば利用する」が 36%、「半額程度で利用する」が 13%。(図 4-4)

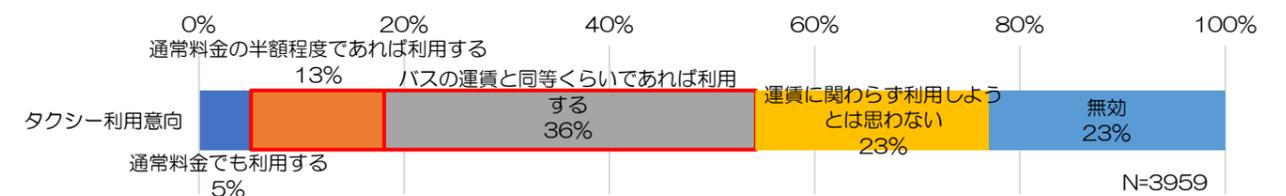


図 4-4 タクシーの利用意向

##### (地域支え合い型)

利用意向は 40%。(図 4-5) 利用しない理由としては「気兼ねする」、「安全面に不安がある」で約 7 割。(図 4-6) 無償または報酬があれば運転手として活動したい人は 17%。(図 4-7)

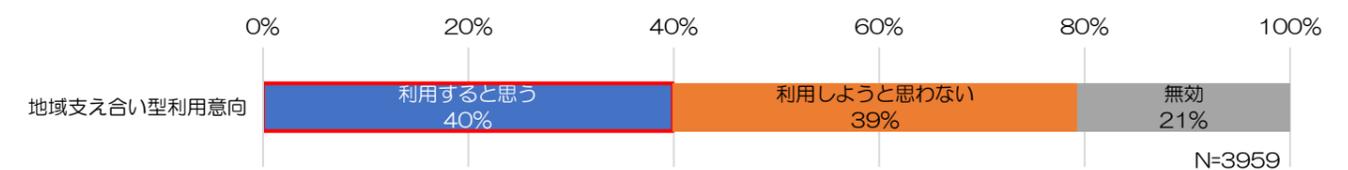


図 4-5 地域支え合いの利用意向

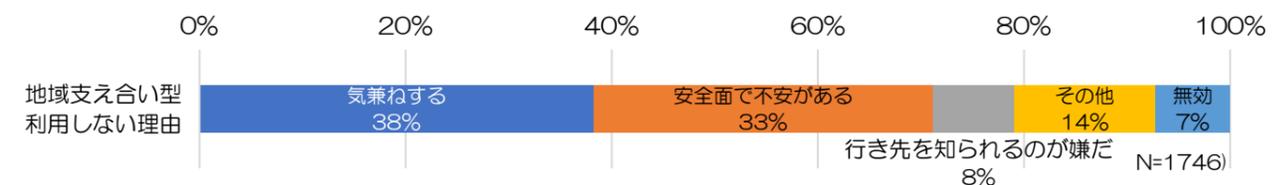


図 4-6 地域支え合い型の利用しない理由



図 4-7 運転手としての活動意向

## ウ.公共交通の維持

対策を講じてでも公共交通の維持が必要である、と考えている人は約4割。そのうち、「住民が運行負担や運転手を担う」などしてでも維持したいと考えている人は26%、「運行本数を減らす」など、最低限のサービスでも維持したいと考えている人は14%。また、「廃止や運行形態を見直す」のがよいと考えている人は17%。

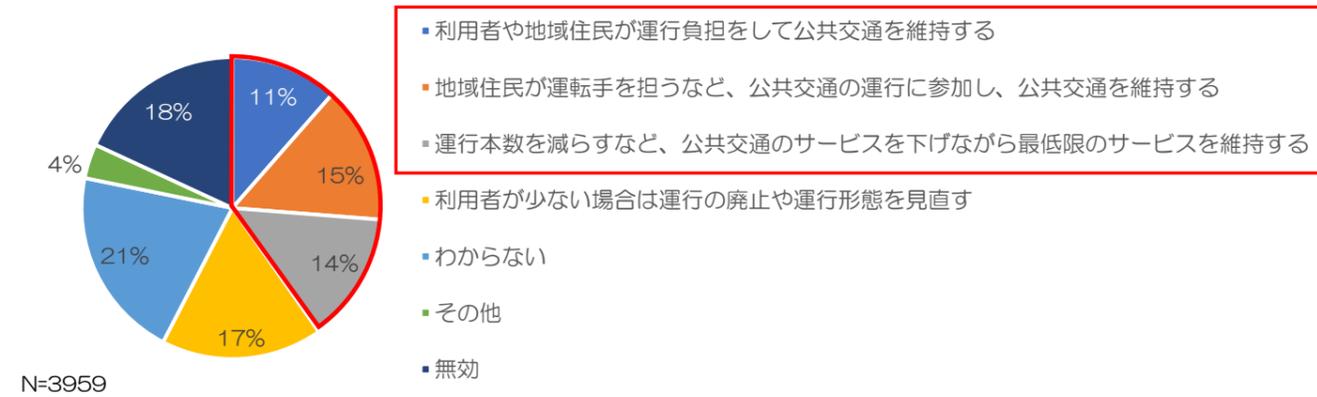


図 4-8 公共交通の維持に対する意見

## 5.公共交通の利用環境

鉄道駅へ徒歩で行ける範囲に住んでいる人は48%、バス停へ徒歩で行ける範囲に住んでいる人は71%。(図 5-1)

鉄道駅徒歩10分圏内では、鉄道の利用割合が少し高い。(図 5-2) しかし、バス駅徒歩5分圏内では、バスの利用割合は変わらない。(図 5-3)

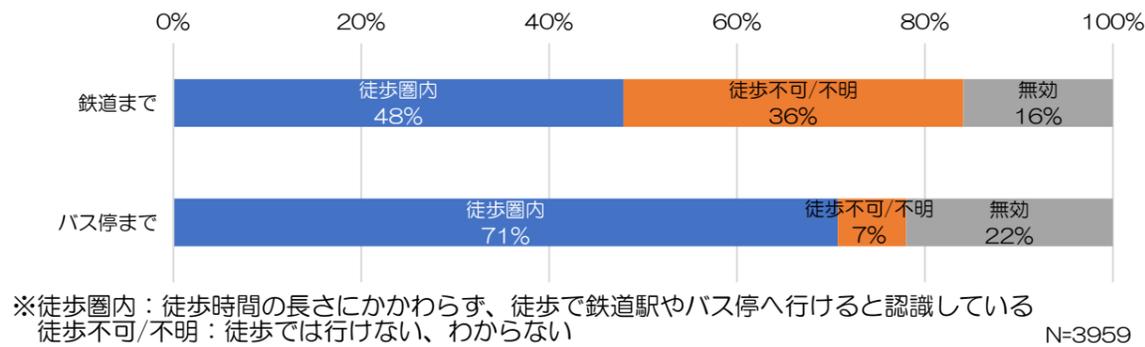


図 5-1 鉄道駅やバス停まで徒歩圏内に住んでいる人の割合

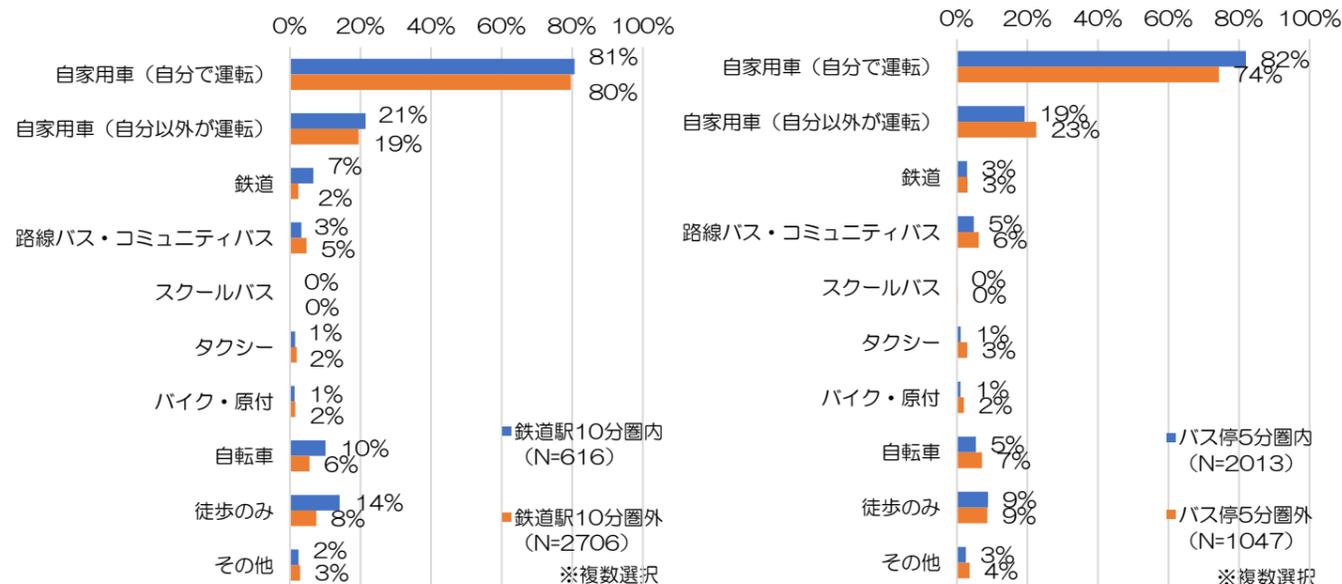


図 5-2 交通手段 (全目的) (鉄道駅徒歩 10 分圏域別)

図 5-3 交通手段 (全目的) (バス駅徒歩 5 分圏域別)

## 6.ICT 技術を活用した施策の可能性

「スマートフォンを持っている」人は68%。そのうち、「複雑な操作はわからない」人が18%。(図 6-1)

「交通系 IC カードは持っていない」人が81%。(図 6-2) 「利用することはない」人が40%。利用できればいい場面としては「バス・タクシー」や、「買い物」が約15%。(図 6-3)

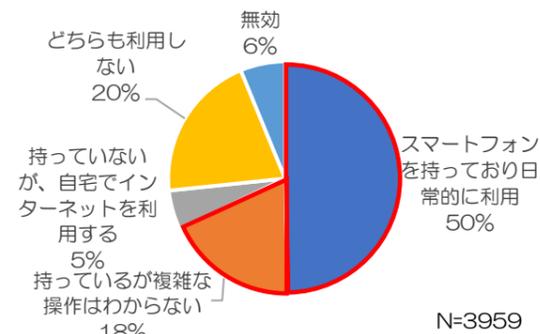


図 6-1 インターネット・スマートフォンの利用状況

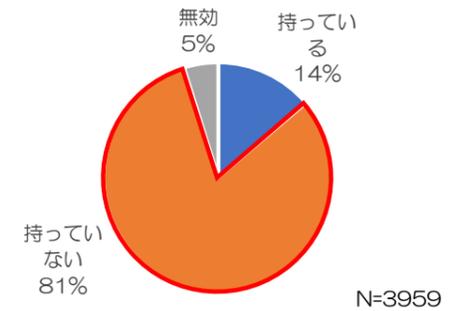


図 6-2 交通系 IC カードの所有状況

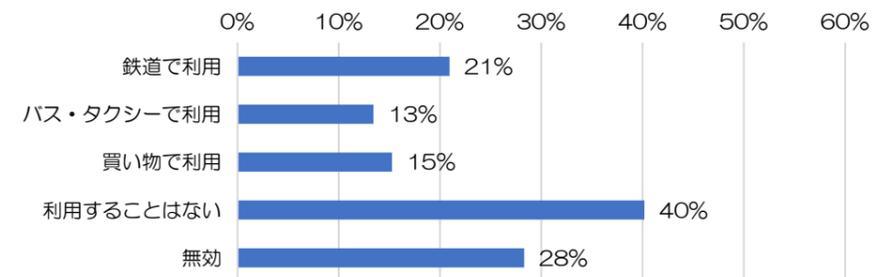


図 6-3 交通系 IC カードが利用できるようなればよい場面

## 7.新型コロナウイルス感染拡大による影響

「外出頻度が減った」人が53%。(図 7-1) また、「外出頻度が減った」と回答した人のうち、「終息後は増える」と回答した人が74%。(図 7-2)

公共交通の利用に影響があった人のうち、終息後、「公共交通に戻る」人は約6割。(図 7-3)

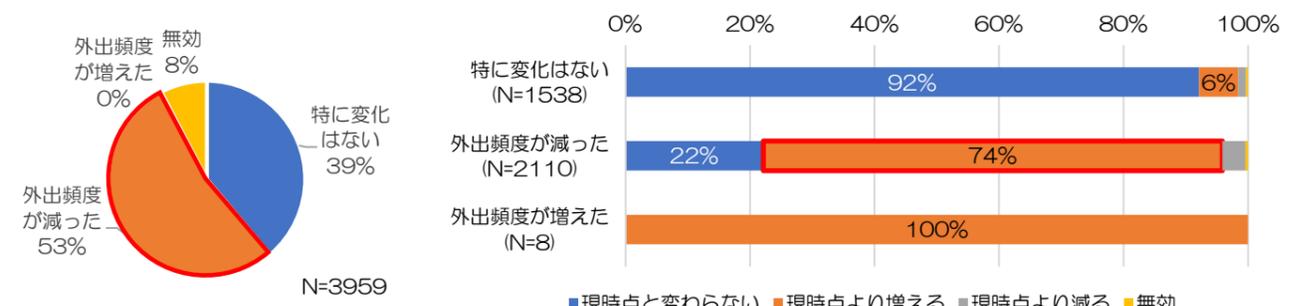


図 7-1 外出頻度への影響

図 7-2 終息後の外出頻度

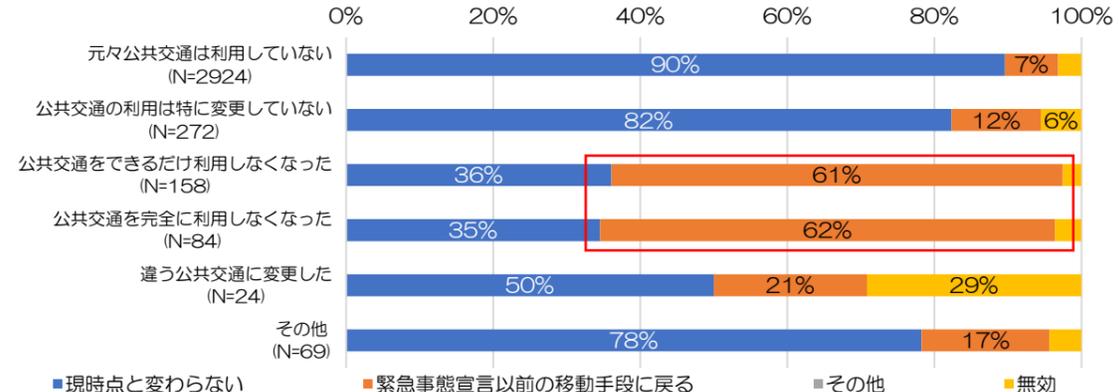


図 7-3 影響前後の移動手段 (公共交通) の変化